

「若者・女性に選ばれるまち」に向け、就労支援に加え、多様な働き方の実現や魅力ある職場環境の整備に取り組む。

地域の課題 本市においても、若者・特に20代の女性の首都圏への流出が課題となっており、人口減少に伴う地域の働き手や担い手不足など、地域活力の低下が懸念されている。流出の大きな要因は「就職」と考えられ、就労の場の創出に加え、多様な働き方の実現や魅力ある職場環境の整備が求められている。

数値目標・KPI	新規高卒就職者の市内就職率	令和11年度：38.0%
	企業と連携した健康講座の実施回数	令和11年度：93回
	移住相談事業等を経た移住者数	令和11年度：600人



■ 主な取組内容

「若者・女性に選ばれるまち」を本市の総合計画・総合戦略における重点テーマに位置付け、若者や女性の視点を取り入れながら、地域の関係機関等とも連携し、次のような事業に取り組む。

- ・ 創業支援体制の充実や就労支援
- ・ 次代の担い手の移住・定住
- ・ 女性や働く世代の健康増進
- ・ 魅力ある職場環境の整備 等

■ スケジュール・予算

若い世代を対象としたワークショップや関係団体との意見交換等を通し、令和7年12月に令和8年度を始期とする総合計画後期基本計画を策定した。

令和8年度以降も企業誘致による就労の場の創出や市内企業への人材確保に引き続き取り組むとともに、企業や関係団体と連携した若者の市内企業への就職支援や健康講座の実施などに取り組んでいく。